

投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	県土整備部土木局 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 佐々木良作 (課長補佐兼河川開発係長 渡邊弘昌)	内線	4408 (4433)
------	-------------------	---------------------	------------------------------------	----	----------------

事業種目	ダム事業	事業採択年度	H3		現計画	再評価時点
事業名	与布土生活貯水池建設事業	着工年度	H15	総事業費	120億円	120億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	36.1億円	36.1億円
事業区間	朝来郡山東町与布土			完成予定年度	H21	H17
所在地	一級河川円山川水系与布土川（朝来郡山東町）			進捗率 (内用補進捗率)	17%(7%)	7%(0%)
事業の目的				事業内容		
与布土川沿川の洪水被害を防除し、河川環境の保全等に必要な維持流量の確保及び既得取水の安定化を図るとともに、山東町に対して新たに日量1,450m ³ の水道用水の取水を可能にする。				型式：重力式コンクリートダム ダム高：54.4m 堤体積：104千m ³ 総貯水容量：1,080千m ³ 治水安全度：1/50		
進捗状況	平成3年度に事業採択後、地形測量・地質調査・環境調査・設計等を進め、平成15年度には地元地権者と用地補償基準を妥結し用地買収を完了した。今後は、仮設備の工事用道路と補償工事である付替道路等の工事に着手し、平成21年度の完成を目標にして、平成18年度の本体工事着手を目指す。					
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> 与布土川沿川においては、昭和62年10月の台風19号による大雨で、床下浸水19戸等の被害を受けており、抜本的な治水対策が必要である。また、山東町の水道水源は浅井戸や渓流水であり、渇水時において取水が困難な状況が生じており、不安定取水の解消のため安定水源を確保することが必要である。 					
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> $B/C = 2.03$ $C'/C = 1.56$ 地元地権者と用地補償基準を妥結し用地買収が完了している。また、地元は早期完成を望んでおり、協力体制が十分整っている。 山東町は、ボーリング調査等により他の水源を探したが見つからず、ダム以外に水源開発の方法はない。 					
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ダム建設に伴う自然環境への影響を極力低減するため、学識経験者による環境保全検討委員会を設置し、その意見を取り入れながら調査を継続するとともに、水没する貴重種の種子を採取して播種するなど保全対策を開始している。 与布土ダムには不特定利水容量を設けており、渇水時においても水生動物の生息に必要な河川流量を確保することが出来る。 					
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 与布土川では平成2年9月にも護岸が決壊する被害が発生しており、再度災害を防止する必要がある。 現在、山東町においては、浅井戸の取水量が年々低下していくなど、不安定な取水状況が続いており、安定水源を確保するため早期のダム完成が必要である。 					
再々評価の結果	事業継続	左の理由	上記理由により、事業継続が妥当である。			